

2011-B					
拠出金・基金の名称:		国際エネルギー機関拠出金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国際エネルギー機関(IEA)					
【所管官庁担当局課・室名】: 資源エネルギー庁国際課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 第一次石油危機を契機に設立されたIEAは、エネルギー自給率の低い我が国にとって、エネルギー安全保障上重要な組織であり、このIEAを通じて、日本を含めた世界のエネルギー安全保障向上への貢献を目的とする。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千ユーロ)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	208,320	-	1,736	1ユーロ = 120円	0
平成22年度	357,237	-	2,666	1ユーロ = 134円	0
平成21年度	420,878	-	2,943	1ユーロ = 143円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 <エネルギー市場分析> WEOをはじめとするIEAの石油・ガス・再エネ等のエネルギー需給分析は、各国の政策立案や投資判断の重要な材料となっており、引き続きその取組を支援し、市場の透明性を向上させることが必要。 <エネルギー安全保障> IEAが知見を有する石油の緊急時対応について、緊急時対応に関連する分析等を支援。緊急時対応能力の向上は、我が国のエネルギー安全保障強化にとって極めて重要。 <エネルギー技術> エネルギー技術ロードマップ等の策定を通じ、世界全体で技術開発の方向性を共有し、我が国戦略も的確に盛り込みながら、国際協力を進めることが不可欠。 <二国間及び多国間の非加盟国との連携> 東南アジアをはじめとするアジア地域に焦点を当てた二国間及び多国間の非加盟国との連携は、同地域においてエネルギー分野の連携強化を進める上で重要。					